

演題 『私と部落とハンセン病』

人生は出会いである

部落問題との出会いは私を変えた

父ありてこそその私——

「私はハンセン病患者だった父の存在を隠して生きていた。差別と向き合い部落解放運動に打ち込む人々と出会い『父は立派な人間だった。ハンセン病であったことはなんら恥じることはない』との思いに至ったのだ」

“恥でないことを恥とするとき

それは本当の恥になる”

録画
配信



はやし ちから
林 力さん

講師

1924年長崎県生まれ(現在98歳)
元九州産業大学教授
元ハンセン病家族訴訟原告団長

配信期間

1月18日(水)~3月31日(金)

※12月10日に講演会を行なった様子を動画配信します

市公式ユーチューブ熊本県合志市(KOSHI CITY)から視聴できます。



<https://www.youtube.com/@koshicity>

二次元コードかURLからアクセスしてください。

アンケートのご協力も
お願いします

チャンネル登録も
お願いします

- 主 催 合志市人権フェスティバル実行委員会・合志市・合志市教育委員会
- 共 催 合志市人権教育推進協議会・阿蘇大津人権啓発活動地域ネットワーク協議会
熊本地方法務局阿蘇大津支局
- 問い合わせ先 人権啓発教育課 ☎248-2399

人の動き

※11月末現在

人口 64,438(+93)

世帯 26,044(+38)

出生…… 41 (-7)

死亡…… 46 (+8)

転入…… 246(-18)

転出…… 148(-19)

※()内は前月比

編集 幸記

あけましておめでとうございませう。本年も広報こうしをよろしくお願ひします。

12月3日に西合志図書館で開催された『しめ縄を作ろう』にお邪魔しました。日本の伝統を知る講座ということで、わらの代わりに紙紐を燃って本体を作り、折り紙や水引などで思い思いに飾り付けをしました。独自にミカンやエビ、鏡餅を作る人もおり、司書が蔵書で日本の縁起物について調べてくれて、学びにも繋がる楽しい時間でした。写真はお知らせカレンダー(31ページ)で紹介しています。

宮崎

今月の表紙

11月20日、ふれあい館で行なわれた『ふれあいフェスティバル2022』のひとコマです。このみ坂保育園の年長さんが、力強い和太鼓の演奏を披露しました。

